

Sports Brake Line

スポーツブレーキライン No.KHA1 V5 550
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ スポーツブレーキライン をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付けときの注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。

登録No.	
部品番号	KHA1 V5 550
車名 車種	マツダ CX-60
型式(グレード)	KH5P KH5S3P KH3P KH3R3P
備考	
取付上の注意	当マニュアルに従って、正しく取付けて下さい。

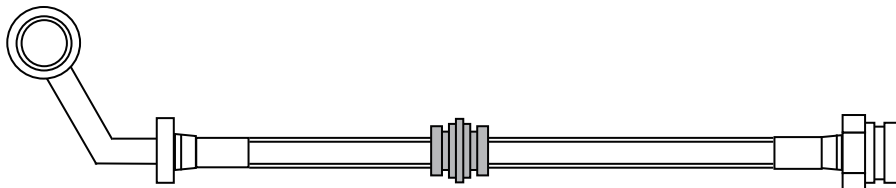
はじめに

1. 当製品は、本書に記載されている適合車種以外には取付けしないでください。
2. ご使用時には本書を必ず携行し、安全にご使用ください。また、本製品を譲渡する場合も、本書を一緒にお渡しください。
3. 車体に改造が施されていたり、純正または弊社以外の後付け部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、当社は一切の責任を負いません。
4. 本製品到着後はすぐに開封いただき、本書に記載する内容物がすべて揃っているかを必ずご確認ください。
5. 本製品は重要保安部品です。交換作業は地方運輸局長から認証を受けた整備工場で行ってください。
6. 本製品の改造、加工は絶対に行わないでください。製品の破損や事故につながる恐れがあります。

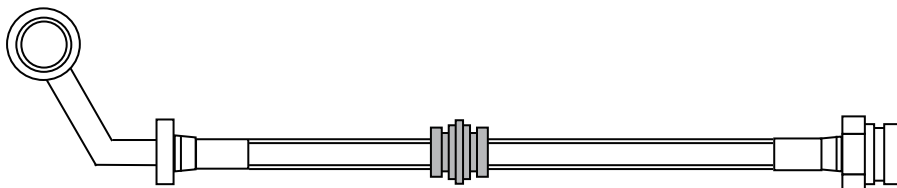
構成部品

取り付けの前に破損・欠品などが無いか確認して下さい。

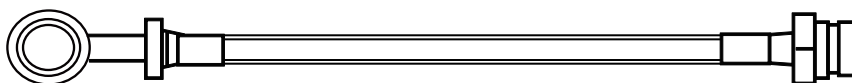
① FRONT RIGHT × 1



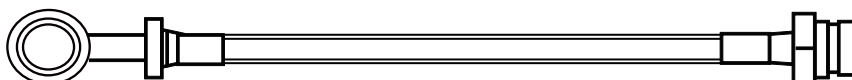
② FRONT LEFT × 1



③ REAR RIGHT × 1



④ REAR LEFT × 1



⑤ 銅ワッシャー × 8



お取付け前に

- ・長さ、形状、取付け方法が純正ブレーキホースとは異なります。本書に従って正しく取付けしてください。
- ・本製品は量産車を基準にデータ取りを行い製品開発を行っております。下記の項目に該当する場合には、ブレーキラインがねじれたり、周辺部品に干渉する恐れがありますので、十分ご注意ください。
 - サスペンションを変更している場合。
 - 車高を変更している場合。
 - アライメントを変更している場合。
 - タイヤ・ホイールサイズを変更している場合。

取付け上の注意

- ・銅ガスケット、ウェイブクリップ等、付属品のあるものは、必ず製品付属のものを使用して下さい。
- ・フレアパイプの先端部が図1の様に変形している場合は、図2の様に変形した状態に修正、またはフレアパイプを新品に交換して下さい。そのまま取付けすると、フルード漏れやフレアナット破損の原因となります。

図1 変形

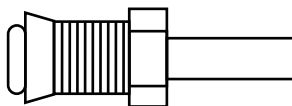
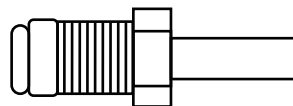


図2 正常



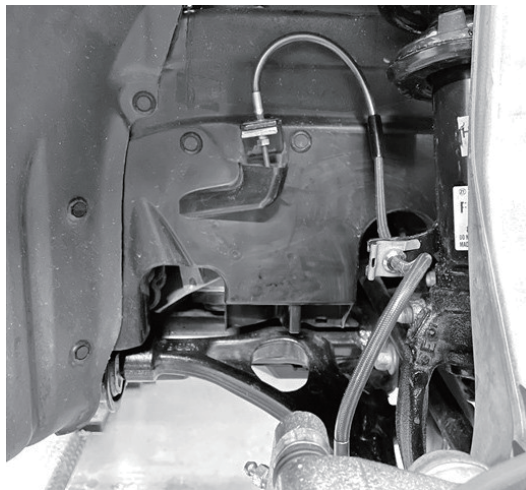
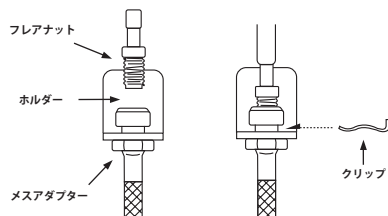
- ・エア抜き作業の手順は、マツダ(株)発行の整備書に従って正しく行って下さい。特にABS、ブレーキアシスト機構付きの車両は、専用の機器や設備が必要な場合がございます。
- ・エア抜き作業終了後、エンジンを始動しブレーキペダルを踏込んだ状態で、フルード漏れがないかを確認して下さい。ホイール装着後、ステアリングを左右に切り、ブレーキラインがタイヤに干渉しないか確認して下さい。

装着後の取扱いについて

- ・法律で定められている、日常点検・定期点検を行って下さい。点検を怠りますと破損や事故及び故障の原因となる場合があります。
- ・定期点検時には、ブレーキライン本体に亀裂や損傷が無いが、必ず点検して下さい。点検を実施し不具合が認められた際には必ず交換して下さい。交換を怠りますと故障や事故の原因となる場合があります。
- ・ブレーキラインは使用期間に応じて劣化する消耗部品です。安心してご使用いただくため、3年ごとの交換をお勧めいたします。
- ・海水や凍結防止剤は錆の原因となります。走行後は洗浄を行って下さい。
- ・走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合や、ブレーキペダルの踏みしろが大きくなった場合には、何らかの異常が考えられます。直ちに安全な場所に停車して、フルードの残量などを確認して下さい。
- ・異常があった場合には走行を中止し、修理工場等に連絡して下さい。

取付要領(フロントブレーキラインの取付)

1. 純正ブレーキホースを取外します。
2. メス側アダプターをボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。



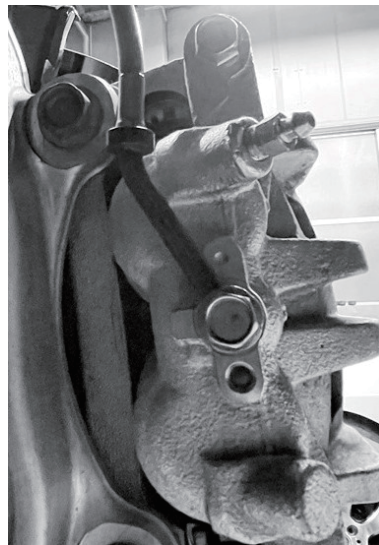
3. 純正のウェイブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを17N・mのトルクで締め付けます。

4. 中間固定金具をセットし、純正クリップを使用して固定します。

5. バンジョーアダプターを仮締めします。
付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して右図と同じ角度で締め付けます。

■銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。

6. 仮締めしたバンジョーボルトを25.5N・mのトルクで本締めします。



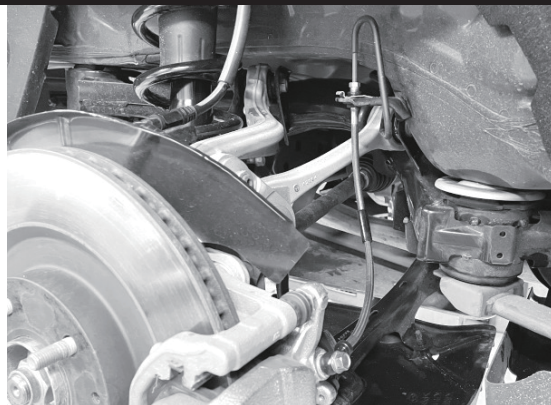
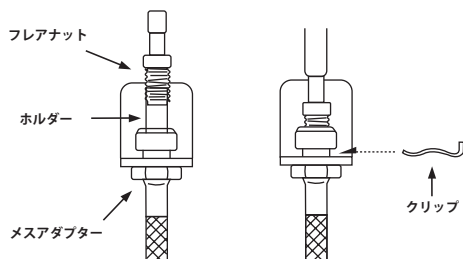
7. サスペンションをフルバンプ、フルリバウンド、またそれぞれのストローク状態でステアリングをロックウロックまで据切りし、ブレーキラインに無理な力が掛かったり、車両各部と干渉していないかを確認します。



規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。

取付要領(リアブレーキラインの取付)

- 純正ブレーキホースを取外します。
- メス側アダプターをボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。

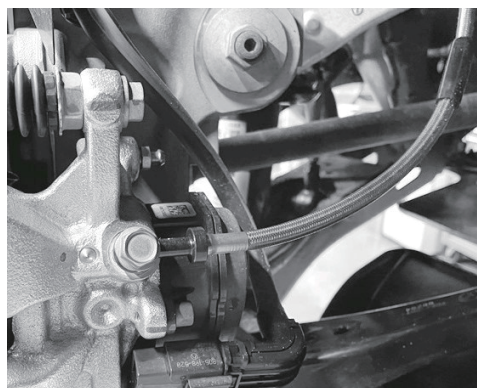


- 純正のウェイブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを $17\text{N}\cdot\text{m}$ のトルクで締め付けます。

- バンジョーアダプターを仮締めします。
付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して右図と同じ角度で締め付けます。

■銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。

- 仮締めしたバンジョーボルトを $25.5\text{N}\cdot\text{m}$ のトルクで本締めします。



- サスペンションをフルバンプ、フルリバウンドし、ブレーキラインに無理な力が掛かったり、車両各部と干渉していないかを確認します。



規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。

装着後の取扱いについて

■ 日常点検について

法律で定められている日常点検を励行して下さい。

- ・ブレーキペダルの踏みしろ
- ・ブレーキの効き
- ・ブレーキリザーバータンクの液量
- (ブレーキ関係抜粋)

■ 交換推奨時期

3年ごとの交換を推奨いたします。但し、点検時に異常を発見した場合には速やかに交換して下さい。

■ メンテナンス

ブレーキフルードの量、汚れ、漏れ等を定期的に点検して下さい。

ブレーキフルードの交換推奨時期は2年毎です。(DOT5を除く)

凍結防止剤が散布された場所を走行された場合には、必ず洗浄して下さい。

■ ブレーキ警告灯

走行中に点灯した場合、ブレーキフルードの残量が極端に減少したことを示しますので、直ちに走行をやめ安全な場所に停止し、ブレーキフルードの残量、漏れを確認して下さい。

お願い

■ 当製品は用途に合わせた消耗品です。日常点検を行い、フルード漏れや取付部の緩みおよびガスケットの劣化、損傷が発生した場合には、そのまま走行せずに新品と交換して下さい。

■ 一般の条件において使用された場合の経年変化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので予めご了承下さい。

■ レース・ラリー等の競技で使用した場合、取付上の不備、日常点検を怠り発生した破損事故等については当社は一切の責任を負いません。